

25 歳 男性 入院期間 2018 年 2 月～2018 年 4 月  
何度もチャレンジして成功しなかった脱ステを難なく達成

#### 入院までの経過

生後 1 ヶ月からアトピー性皮膚炎それ以降、ステロイド外用と抗アレルギー剤の内服を続けた。

高卒後就職し、汗まみれで働く内にアトピー性皮膚炎は全身性に悪化。外用ステロイドでは効果が充分でなくなり、内服のステロイドや免疫抑制剤シクロスポリン内服を併用していた。

入院の 2 年前から脱ステを試みるも、悪化で挫折を繰り返しており、入院 3 ヶ月前の脱ステから非常に悪化。

ステロイドを増量してもコントロールができなくなり当院を受診した。

		入院時	1 ヶ月経過	2 ヶ月経過
	基準値	2018/2/27	2018/4/2	2018/4/27
TARC	450 以下	5011	2423	1433
LDH	120～245	381	391	259
IgE	170 以下	26861	27827	25849
好酸球	7%以下	16	17.3	11.4
POEM (自覚症)	最重症者 20～28	28	22	6

#### 入院後の経過

上半身を中心に黄色ブ菌とマラセチアの強い感染が生じている。

マラセチア感染は脂漏性皮膚炎を呈していて、顔の皮脂腺分布領域を中心に独特の黄色の分泌物が認められる。

長年の免疫抑制療法で感染は拡大し深部に及んでいたが、何度チャレンジしても成功しなかった脱ステは BSC にて簡単に達成できた。

退院時、顔は見違えるようにきれいになっており、退院後も良好な状態が維持できている。

